

<テーマ>3人グループでの解決活動により深い学びにつなげる取組（東松島市立大塩小学校）

【ねらいと特色】

本単元のねらいは、比の表し方とその意味、比の値の求め方とその意味、等しい比の意味を理解させることである。学習を進めるに当たって、類推的思考を働かせて自力解決を行えるように、前時の学習内容を想起させ、既習事項の活用を意識させてきた。6年生だと既習事項の中から必要なものを取捨選択する力も必要になってくる。今回は、前時の学習内容以外のものを活用する課題を設定し、取捨選択する場面を設けた。また、課題を解決するために、自分の考えをノートに書いたり、友達の考えを青ペンでメモさせたりするようにした。自分の考えを話すことを苦手としている実態を踏まえて自力解決後の3人グループでの話し合いを繰り返し行ってきた。考えの相違点に気付いたり、他の考えがないかどうか話し合うことができたりしたことで、思考力が深まり、数学的な考え方もできるようになってきた。

【実践の概要】

